

ふじのくにグローバル人材育成事業 報告書

参加した コース	マイ探究コース			訪問国	オーストラリア
学校名	静岡県立静岡城北高等学校	氏名	水野凜果	学年	2年

私は今回の留学で学んできたことや、経験してきたことを報告したいと思います。

まずは、私の留学先についてお伝えしようと思います。私は、今回、オーストラリアにあるジンブンバというブリスベンから車で約一時間ほどでつく場所に留学させていただきました。ジンブンバは、自然が豊かな場所に加え、広大な面積を持っています。例えば、高速道路のことなのですが、日本は旅行などで、他の県なども遠い場所に行くときに高速道路を使いますが、ジンブンバでは面積が広いことでその高速道路を普段の移動に使っていました。私は、ジンブンバのインターナショナルスクール（以下、現地校）に約1ヶ月間留学しました。そこでもまず、驚いたことがありました。それは、学校の敷地内にカンガルーがいるということです。学校でランチを取っている間に、学校に設置してある柵の向こうにカンガルーが走ったり、歩いたりする光景をよく見かけました。私が、その光景に驚いているのを見て、現地校の生徒の方が、「留学生の子はみんなその反応をするよね。」と笑って言っており、私はそこで習慣というもの本当にすごいものだたと初めて身にしみて感じました。さらに、私はホームステイをさせていただいたのですが、その時に、ホストファミリーと一緒にスーパーに行く時がありました。そこで、ホストシスターに突然、バナナを渡されて「食べて。」と言われました。私はお金も払っていないのに良いのかと思ったのですが、それはもうすぐ廃棄されるかもしれない果物でそれを子どもたちのために無料で配布しているものだったようです。日本ではめったにない光景ですが、食べ物を粗末にしてはいけないという考えを持つ日本にも取り入れるべきだなと感じた瞬間でした。



次に、私が留学の目的とした探究についてです。私は、「子ども個人に適した学習環境を作るための方法をインクルーシブ教育から考える」ということを探究テーマとしました。インクルーシブ教育とは、障害の有無、国籍の違いを問わず学生が同じ空間でともに学ぶこと、そして誰一人取り残さず平等に教育を施すという教育における考えです。私が、この探究を始めよ

うと思ったきっかけは、中学の頃、友達に自分の学習環境について悩んでいた子がいたことから教育について身近に考えるようになったことと、様々な学習環境や教育方法を自分の目で確かめてみたいと思ったからです。私は、このテーマのための探究活動として、以下のことを行いました。

- ・現地校の生徒にも同様の質問をしてインタビューすること
- ・実際に現地校の普通クラスに留学させてもらい、授業を受ける



私がこの探究活動を通し、オーストラリアの教育環境をみて気づいたことが主に2つあります。1つ目は、今の自分の学習環境を自分のために変えるというためらいがないということです。現地の生徒へのインタビューで「今の環境合っている？」と聞くと「自分のしたいことができないので合っていない。だから、今度その環境が整っている他校へ引っ越す。」との返事が返ってきました。当時、私の中には今ある環境でどうにかするという考えしか浮かんでいなかったため、この考え方にはとても驚き、自分の中で環境を変えることへの抵抗があったのだとも同時に気づきました。私は、ここから日本にはまずこの考え方を変えていくサポートが必要なのだと学びました。そして、2つ目は、実際に授業を受けて感じたことで、教師と生徒の距離が近いこと、そして教師は生徒の行動を全て指示するのではなく、次の行動に生徒自身が移すためのサポートをしているということです。まず、教師と生徒の距離が近いということなのですが、日本では教師一人が生徒40人を相手に授業をしますが、現地では、一人が15人程を相手に授業をするので教師も生徒の細かいところまで把握し、向き合うことができる空間になっており、それにより生徒も発言がしやすくなることで意見交換が活発に行われていました。次に、生徒の行動を教師が促すということについてですが、これは、現地校に併設されている英語を第一言語としない留学生が英語を勉強するクラスで一人の生徒が英語をうまく話せず教師に質問できなかったときに、「この表現を使ってもう一度言ってごらん。」と行動を促していました。ここから、できないことを否定するのではなく次につなぐサポートが学習においては必要なのだと新たに知ることができました。

私は今回初めての海外での留学でしたが、たくさんの経験をすることができました。そして一番感じたことは多くの人に支えられたということです。今まで、あまり意識できていなかった感謝というものを、留学で改めて意識できる様になったことも良かったなと思いました。